

令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立玉幡中学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は、全国平均よりもやや低い結果です。話したり聞いたりする力は、全国平均に近い力があります。日頃の授業の中でグループワークなどを取り入れている成果がみられます。一方で、読む力や読み解いたことを表現する力に課題が見られます。
- ・数学の平均正答率は、全国平均よりもやや低い結果です。基礎基本の定着を中心とした授業を行うことで、基礎的な数学力は身につけているものの、それらを活用したり、既存の知識を利用して数学的な表現を用いて説明する力に課題が見られます。
- ・英語の平均 I R T スコアは、全国平均よりもやや低い結果です。聞く力は、全国平均に近い力があります。日頃の授業の中で先生や仲間が話す英語の音声を聞き取る授業展開を図っている成果がみられます。一方で、読む力や書く力に課題が見られます。
- ・国語、数学、英語ともに全国との差は縮まってきており、授業改善の成果が現れてきています。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・良い傾向が認められる項目
「学校で受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか」について高い数値を示しています。
- ・課題となる項目
「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか」「新聞をどれくらい読んでいますか」と回答した生徒の割合が低いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・昨年度に引き続き校内研究会において、ICT機器を有効利用した授業づくりに取り組み、「主体的な学び・対話的な学び・深い学び」の視点からICTを受動的に利用することにとどまらず、主体的・能動的に活用するよう授業改善に取り組んでいきます。
- ・国語の授業では、音読することや文章に何が書いてあるかを自分の言葉で短くまとめることなどをより多く取り入れていきます。
- ・数学の学習では、基礎基本のみならず、生徒主体のICTを活用した授業内容の工夫や改善に取り組んでいきます。
- ・英語の授業では、読んだ文章の中にあった便利な表現を、書く練習で試してみることをより多く取り入れていきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・生徒質問の結果から、学校以外で生徒自らが学習に取り組む時間がやや少ない傾向にあります。家庭での会話から生徒が将来の目標を描き、自ら学習に取り組んでいくよう励ましの声かけをお願いします。
- ・日頃から学校での出来事についての話題を取り上げていただくをお願いします。
- ・ネット上にある自分が興味関心のある物事だけではなく、新聞を読んだり、ニュースを見たりすることから客観的に物事を見たり、判断したりする力を養う機会を増やしてください。
- ・生活のリズムを整え、SNSや動画の視聴およびゲームをする時間のルールを決めて守らせてください。